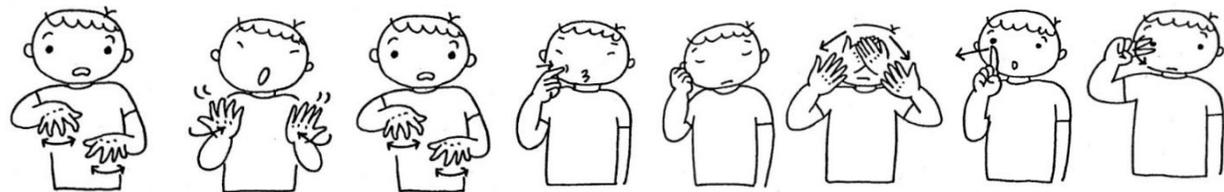


～ 園の歌を手話で歌おう ～

1番

- 1.おばけなんて 2.ないさ 3.おばけなんて 4.うそさ 5.ねぼけた ひとが 6.みまちがえたのさ



両手のひらを自分に向けて上下にし、手首を左右に振る。
 両手のひらを外に向け、クルッと手首を回して手のひら側を自分に向ける。
 1.と同じ
 右手人さし指ではおをつつく。
 右手をげんこつにしてはおにあててから、両手のひらを目の前で交差させ、それぞれ斜め下へおろす。
 右手人さし指を目の前から前方に出し、人さし指と中指を右目の前にあて、クルッと回転させる。

- 7.だけどちょっと だけどちょっと 8.ぼくだってこわいな 9.おばけなんて ないさ 10.おばけなんてうそさ



右手のひらを外に向けてクルッと手首を回転させてから、親指の先を人さし指の先にくっつけて親指の先をはじく動作をくりかえす。
 自分をさしてから、両手をげんこつにして上にあげ、ブルブルふるえる。
 1.2と同じ
 3.4と同じ

2番

- 11.ほんとに おばけがでてきたら 12.どうしよう 13.れいぞうこに 入れて 14.かちかちに しちゃおう



※7～10
くりかえし

右手のひらを左側に向け、人さし指の先をあごにトンとあててから1.と同じ表現をする。
 右手を湾曲にして頭の横で2回前後に振る。
 両手をげんこつにしてふるえる表現をしてから、右へ扉を開ける表現をする。
 両手の指先を曲げピタッと止まる（おばけの表現のまま止まってもよい）。

3番

- 15.だけど こどもなら 16.ともだちに ならう 17.あくしゅをしてから 18.おやつをたべよう



※7～10
くりかえし

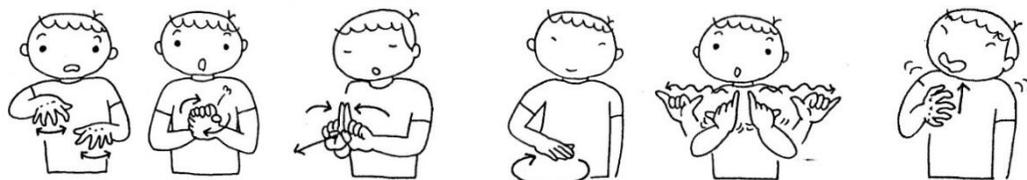
2.と同じ表現のあと、両手のひらを外に向け左右に振る。
 両手のひらに向かい合わせていきおいよく握手をしてから、親指と人さし指を伸ばして、両手首を上に向け、下におろすと同時に指先をくっつける。
 両手の握手をして前後（または左右）に振る。
 右手親指と人さし指で、お菓子をつまんで食べる表現をする。

7月の歌は「おばけなんてないさ」です。 作詞：槇 みのり 作曲：峯 陽

1966年にNHK「みんなのうた」で放送され、いまでも歌い続けている童謡のひとつです。ポプラ社より「おばけなんてないさ」の絵本も出版されており、保育園でも乳児クラスを中心に人気のある絵本です。幼児クラスでは毎年、初夏のこの時期に子ども達の可愛い歌声が響きます。手話ソングを通して、手話に興味を持ち、少しでも覚えてもらえたらいいなと思っています。

4番

- 19.おばけの ともだち 20.つれて あるいたら 21.そこらじゅうの ひとが 22.びっくりする だろう



※7～10
くりかえし

1.と同じ表現のあと、両手で握手する。
 両手の人さし指を上を立て、左右から中央へ寄せてきて前に出す。
 右手のひらを下に向けて、左側から円を描いてから両手の親指と小指をのばし、中央からそれぞれ左右に手首をひねりながら広げていく。
 右手の指先を曲げて胸にあて、下から上にあげると同時におどろいた顔をする。

5番

- 23.おばけの くにはは 24.おばけだらけ だつてさ 25.そんな はなし 26.きいて



1.の表現のあと、両手をCの形にし、中央からそれぞれ左右に広げると同時に指先をくっつける。
 1.の表現のあと、首の前で両手のひらを下に向け、円を描きながら腹の前で両手のひらを上に向ける。
 1.の表現のあと、両手の人さし指を伸ばして、胸の前でそれぞれクルクル小さく円を描く。
 右手人さし指を耳にあてる。

27.おふろに はいろう



※7～10
くりかえし

右手をげんこつにしてはおをこする。

ワンポイント



「うそ」は、ほおをふくらませて、人さし指で2回つつく。



「びっくり」は、両手の指を曲げて顔をかくし、いきおいよく前に出す（おどろいた顔を出す）。



「ふる」は右手で左胸をこする動作をしてもよい。



「手話でうたおう子どもの歌」
音楽之友社 より 引用

